

けいはんな学研都市先人の足跡 ～橋諸兄編～

けいはんなの偉大な先人と語りたいチーム



×



NDL 関西館

けいはんな学研都市先人の足跡 ～ 橘諸兄編～

教育・地域活性化

橘諸兄の足跡から学ぶけいはんなのこれから

作品の概要

発展を遂げる関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)。この地域一帯の発展の歴史は、奈良時代、古墳時代、さらにその昔へと遡る。

このけいはんなで活躍した先人に光をあて、その足跡を知り、今後の地域の発展の方向性への示唆を得る。

今回は、先人の中の一人、奈良時代の橘諸兄にスポットライトを当てる。疫病の流行、遷都(彷徨五年)、大仏の造立。そして『万葉集』の編纂。仏教による鎮護国家を目指して天平文化が開花した時代を生き抜いた諸兄。その人物像と時代背景を整理しつつ、諸兄の思い描いた地域の未来に想いを巡らせる。

- けいはんな学研都市の開発の中で、変わりゆく地域の景観。豊かな歴史・文化を育んできたこの地域の景観的価値を、臨場感を持って感じ取ることが難しくなりつつある。平城京中心部の保全等は進んでいるが、一方で、そこに連なる街道の痕跡や、周辺環境として文化を育んできた里地里山も同時に「保全されなければ、その価値は、未来の人たちに伝わらず、やがてこの地域全体の文脈が断絶してしまうかもしれない。



今回の取り組みを通じて

- 歴史的な一次資料と、近年の調査報告書や研究文献、現在のデータを融合したギャラリーが構築される。
- 取り組みをベースとして、サイエンスシティの最先端科学技術と文化景観とを融合文化させた、新たな体験コンテンツが創出される。
- 地域の文化景観への深い理解と地域への愛着が醸成される。

けいはんな学研都市先人の足跡 ～橘諸兄編～

教育・地域活性化

作品の概要紹介

地域に関する歴史を豊かに理解しようとする場合、現状のジャパンサーチ上のコンテンツは部分的に有効であるが、十分ではない。

そこで、デジタルデータにはなっていない文献類の渉猟、現地訪問等を通じて、バランスよく情報を収集する。また収集した情報を、ウィキペディア関連項目の執筆、ウィキメディアコモンズへの現地写真の共有、uMapでのプロットなどを通じてオープンに蓄積し、ジャパンサーチ上のコンテンツと併せて、そのワークスペース内のギャラリーに集約する。

内容には、橘諸兄の生涯と人物像、関連遺跡としての神雄寺、橘諸兄に関係する人物、和歌、(植物としての)橘などを取り上げる。(目次別スライド参照)

使用データ

ジャパンサーチ

データ形式

画像等

提供形態

ウェブギャラリー

地域

京都府・大阪府・奈良県(けいはんな学研都市)



- 今回の取り組みをベースとして、サイエンスシティの最先端科学技術と文化景観とを融合文化させた、新たな体験コンテンツが創出する。
- ウィキペディアの関連項目の記述を図書館資料等を用いて充実させ、より多くの人が地域の歴史的な文脈を理解しやすいようにする。
- 「ジャパンサーチ・タウン」の取組みとして、一つのモデルケースとなる(別紙コンセプト図参照)。

けいはんな学研都市先人の足跡 ～橘諸兄編～

教育・地域活性化

目次構成

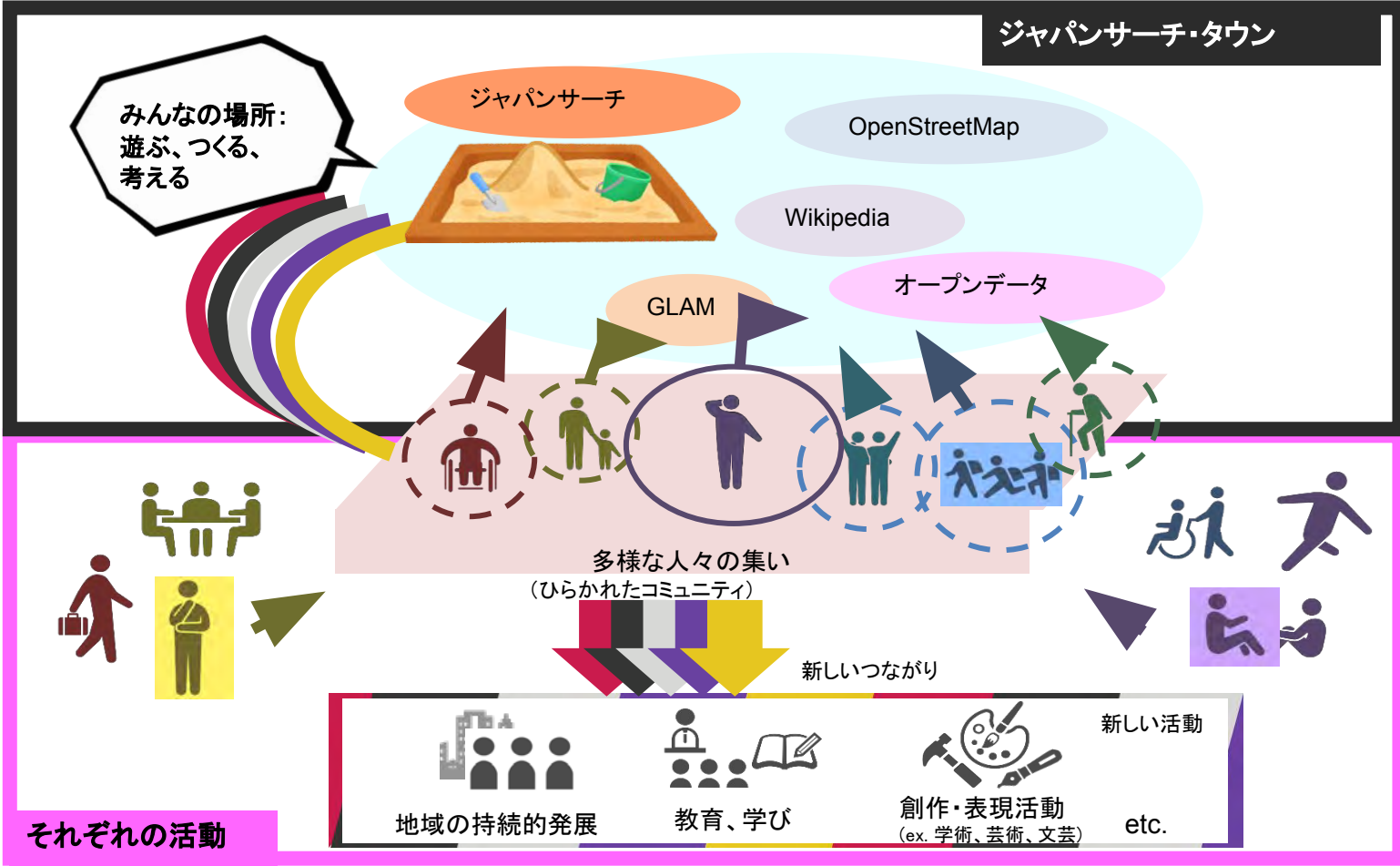
※未完成部分含む

章タイトル	内容
はじめに	イントロダクション／目次(暫定)
その生涯と人物像	図書館に所蔵されている資料等に基づき、ウィキペディアの記述を充実させる。その内容を活かし、橘諸兄の生涯と人物像について、バランスよく伝える。
和歌	橘諸兄による和歌や、「橘」を詠った和歌を、「万葉集」の中から紹介する。
橘諸兄にまつわる場所	けいはんな学研都市の現在の位置関係 uMapを使った主要地のマップ 平城京と恭仁京、泉津、井手の里、関東行幸のコースなど、諸兄と関連する歴史エリアの概要を紹介する。また、描かれた地域の風景を名所図会や後世の美術作品によりビジュアルで紹介する。
神雄寺跡と相楽別業	ウィキペディア(新規項目)の記述を活かし、その姿に迫る。 神雄寺跡の発掘データ、関連シンポジウムにおける研究者の発言など。
橘諸兄タイムライン	その生涯を年表をベースに伝える。 時代背景を解説する。天平地震、天平の疫病大流行、長屋王の欄、藤原広嗣の乱、彷徨五年。
女性たち	橘諸兄の母である県犬養三千代、異父妹にあたる光明皇后。聖武天皇政権への橘渡しをした、元明天皇、元正天皇。同時代の女性を紹介する。女性に関連する事項(聖泉、正倉院宝物等)の紹介する。
倭橘(非時香果)	植物「ヤマトタチバナ」の魅力に迫る 橘を詠んだ和歌の紹介／橘伝来の物語や関連資料／橘の活用と現在の活動
最終章	ギャラリー作成者が感じた橘諸兄に対する感想。 我々は橘諸兄から何を感じ、そしてこの時代へのインスピレーションを得ることができるのか。展開作品の紹介。
参考文献リスト	主要な参考文献

けいはんな学研都市先人の足跡 ～橋諸兄編～

教育・地域活性化

今回の取組みを通じて模索した「ジャパンサーチ・タウン」の在り方(コンセプト図)



けいはんな学研都市先人の足跡 ～橋諸兄編～

教育・地域活性化

ジャパンサーチ(ギャラリー)

橋諸兄にまつわる場所



橋諸兄:神慮寺跡と相楽別業
奈良時代にあったとみられる寺院の跡

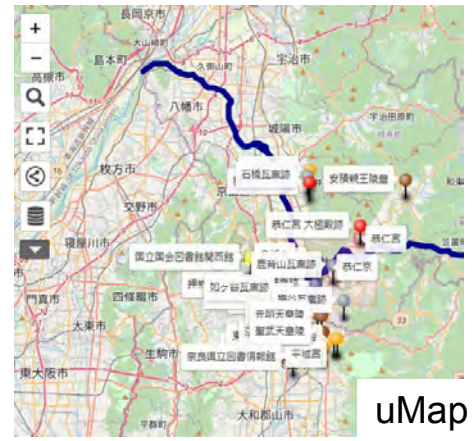


橋諸兄:やまと橋(非時香果)
橋に関わるエッセイ



橋諸兄:同時代の女性たち
橋諸兄とともに同時代に足跡を残した女性を紹介します。



現地訪問・撮影



橋諸兄
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

橋 諸兄 (たちはなの もろえ) は、奈良時代の皇族・公卿。初名は郡城王 (郡木王) [1] で、臣籍降下して橘宿禰のち橘朝臣となる。敏達天皇の後



神慮寺跡
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

神慮寺跡 (かみおでらあと[1][2][3]) は、京都府木津川市にある奈良時代の山林寺院跡[5]。当時の都である平城京の北側に広がる奈良山丘陵の一角で、一時に都であった基仁宮の右京に位置する[6][7]。ただし、神慮寺の名は当時の文献には一切記載が無く、「跡の寺」である[8][9]。現地の地名から馬場南遺跡とも呼ばれる[10]。国の史跡に指定されている[1]。

ウィキペディア